

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証（令和2年度）

熊本県 錦町

No	事業名	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (千円)	うち交付金 対象事業費 (千円)	実施状況・効果
				合計	367,638	361,813	
1	プレミアム付 商品券事業 (春実施分)	町商工会が発行する10%のプレミアム分が付加された商品券(1冊あたり11千円)のプレミアム分に補助する。	R2.4	R3.3	5,000	5,000	発行総額の99.7%が使用され、町内における消費活動の底上げにつながった。
2	プレミアム付 商品券事業 (春実施・追加分)	1の事業のプレミアム分を10%追加する経費に補助する。(1冊あたり12千円とした)	R2.4	R3.3	6,282	6,282	発行総額の99.7%が使用され、町内における消費活動の底上げにつながった。
3	プレミアム付 商品券事業 (秋実施分)	町商工会が発効する20%のプレミアム分が付加された商品券(1冊あたり12千円)のプレミアム分に補助する。	R2.4	R3.3	11,982	11,982	発行総額の99.6%が使用され、町内における消費活動の底上げにつながった。
4	商品券配布事業	町民や町内の商工業者の支援のため、全住民に町内で使える商品券(5千円分)を配付する。	R2.4	R3.3	53,302	53,302	配布した商品券総額52,490千円のほぼすべてが利用され、町内における消費活動の底上げにつながった。
5	事業持続化給 付金支給事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を大きく受け、売上が前年同期比15%以上減となった町内中小事業者、農業者に経営支援に係る給付金を支給する。	R2.4	R3.3	11,100	11,100	町内111事業者からの申請があり、総額11,100千円の支給を行い、コロナ禍における営業悪化に対する一助となった。
6	金融円滑化特 別資金利子補 給事業	県の金融円滑化特別資金(20,000千円上限)の融資を受けた町内中小事業者への利子補給を行う。	R2.4	R3.3	1,527	1,527	町内17事業者からの申請があり、総額1,527千円の支給を行い、コロナ禍での資金繰りを支援した。
7	雇用調整助成 事業	直近1ヶ月及び今後を含めた3か月の売上が前年同期比15%以上減の状況で雇用を維持する場合、雇用維持の支援を図るため1事業者1人あたり20千円補助する。(上限200千円)	R2.4	R3.1	4,860	4,860	町内26事業者(複数回申請含む)からの申請があり、総額4,860千円の助成を行い、雇用の維持を支援した。
8	錦町肥育事業 継続支援事業	新型コロナウイルス感染拡大による影響を大きく受けている肥育農家の事業継続のための支援を行う。	R2.6	R2.8	1,950	1,950	町内10経営体から申請があり、総額1,950千円の支給を行い、コロナ禍における経営状況悪化に対する一助となった。
9	農業経営安定 資金保証料助 成事業	新型コロナウイルス対策農業経営安定資金に係る保証料の助成を行う。	R2.4	R3.3	12	12	町内3経営体から申請があり総額12千円の支援を行い、コロナ禍における経営状況悪化に対する一助となった。
10	農業経営安定 資金利子補給 事業	新型コロナウイルス対策農業経営安定資金に係る利子補給を行う。	R2.4	R3.3	16	16	町内3経営体から申請があり総額16千円の支援を行い、コロナ禍における経営状況悪化に対する一助となった。
11							
12	学校給食費補 助事業(第2 子以降分)	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減となっている保護者の負担削減のため、第2子以降の児童生徒分の学校給食費を補助する。	R2.4	R3.3	7,912	7,912	児童・生徒1人あたりに対し月額2,000円を補助。小学生6,976,200円、中学生935,800円を補助することで保護者の負担軽減につながった。

13	学校給食費補助事業（第1子分）	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減となっている保護者の負担削減のため、第1子の児童生徒分の学校給食費を補助する。	R2.4	R3.3	12,154	12,154	児童・生徒1人あたりに対し月額2,000円を補助。小学生6,709,676円、中学生5,444,000円を補助することで保護者の負担軽減につながった。
14	学校マスク等購入事業	学校保健特別対策事業(感染症対策のためのマスク等購入支援事業)の継ぎ足し単独に係る経費に充当する。	R2.4	R3.3	1,233	1,233	マスク4,000枚を準備し、全児童生徒に対し早期に配付することができ、また消毒液を購入するなど感染予防に努めた。
15	公共的空間安全・安心確保事業	公共施設、集会所等における入場者の検温を行うための体温計等を購入する。	R2.4	R2.7	1,005	1,005	発熱者を発見することにつながり、感染拡大防止につながった。
16	手洗所内自動水洗化事業	来庁者等の感染防止対策のための役場内トイレ等の手洗所自動洗浄化工事を行う。	R2.9	R2.11	1,156	1,156	不特定多数が利用する役場内トイレの手洗所を自動洗浄化したことで接触の機会が減り、感染防止につながった。
17	健診時の感染予防事業	各種検診での感染防止の徹底を図るために必要な消耗品等を購入する。	R2.4	R3.2	2,350	2,350	乳幼児から高齢者までの各種健診の参加者及び従事者共に感染防止対策を徹底することで、安全に健診を遂行することができた。
18	通信機能増強事業	コロナウイルス第2波、第3波に向けた保健センターの円滑な相談業務のための体制整備を行う。	R2.10	R2.10	770	770	感染者数の増加に伴い住民の不安も増していく中、身近な所での一般的な相談対応を実施することができた。
19	くま川鉄道経営安定化補助事業	国・県等の活動自粛要請により大きな影響を受けた、地域交通を支えるくま川鉄道に対する、安定的な事業継続のための支援する。	R2.4	R3.3	790	790	圏域自治体が一体となり支援する事により、公共交通を支える事業継続の一助となった。
20	町内周遊観光推進事業	観光地の駐車場、屋外トイレ、展望所を整備することにより、新たな観光スポットを増加させ、3密を避けた周遊観光を推進する。	R2.11	R4.5	31,996	31,996	駐車場、サイクルポート、展望所、トイレ、雨水排水整備をしたことで、観光地としての魅力が向上するとともに、新たな観光スポットとして確立し、3密を避けた周遊観光が可能となった。
21	錦町立人吉海軍航空基地資料館拡張に伴う備品設置事業	町の観光拠点である海軍資料館において、来館者の受入分散、来館者数増のために行う施設拡張に伴う必要備品を整備する。	R2.10	R3.3	38,717	38,359	町の観光拠点施設である資料館に各種備品を整備する事で、県内で唯一兵が学習ができる施設として、修学旅行の受け入れが可能となった。また個人旅行者においても、新たな観光施設として成立したことで、来館者の増加に加え、町内全域の観光入込客数の増加に寄与した。
22	錦町立人吉海軍航空基地資料館におけるレンタサイクル事業	来館者の見学バターの多様化、周辺観光施設への経済効果を波及させるため、レンタサイクルに使用する電動アシスト付自転車の購入補助を行う。	R2.12	R3.1	480	480	電動アシスト付自転車を4台整備した。コロナ禍による自転車需要の高まりもあり、資料館来館者の分散とともに、自転車ならではの観光周遊ルートも整備した。
23	公園におけるソーシャルディスタンス確保のためのベンチ設置事業	町内各公園において、それぞれ数か所の休憩所を設けているが、スペースに限られ、利用が集中しているため、各公園内に数か所ずつベンチを設置して利用者の分散を図り、ソーシャルディスタンスを確保する。	R3.3	R3.3	3,597	3,597	町内3カ所の公園に15基のベンチを設け、利用者の分散によるソーシャルディスタンスを確保した。
24	飲食店等の感染防止対策事業	町内飲食店等における感染症対策の徹底と安心して利用できる環境づくりを図る。	R2.12	R3.3	1,750	1,167	町内12事業者にパーテーション等の感染防止設備を導入したほか、感染防止アドバイザーの派遣やステッカーを配布した。

25	大王神社横トイレ設置事業	参拝や観光等でのトイレ利用を分散し、3密を回避するためのトイレ設置。自動洗浄機能を付加した感染予防を図る。	R3.3	R3.11	7,002	7,002	トイレを設置したことで、観光地としての魅力が向上し、町内の分散周遊に寄与した。また、自動洗浄機能付きにすることで、感染予防効果も強化された。
26	錦農産物の通販事業	町の豊富な農産物の販路拡大と都市部消費者の買物時の3密回避を図る。	R3.1	R3.3	708	708	12件の参加希望者に対して説明会等を実施することで、コロナ禍における新たな販路開拓の一助となった。
27	スマホQRコード決済導入事業	町内事業者の現金非接触での決済を可能にし、キャッシュレス化の進んだ都市部からの旅行者やインバウンド客取り込みによる町内消費の喚起。町民のキャッシュレス決済化も推進する。	R3.1	R3.3	550	550	60件程度の事業者への訪問を行い、コロナ禍における新たな決済方法の推進の一助となった。
28	産地生産基盤パワーアップ事業における球磨郡錦町の負担額	高性能穀類乾燥設備及び付帯設備導入に係る産地生産基盤パワーアップ事業で人吉球磨地域の市町村が負担（球磨農業協同組合に補助）する金額の一部負担に充当する。	R2.8	R3.3	4,324	4,324	錦RC、錦CE、中球磨RC、岡原RCの統合再編を行い、高性能乾燥機およびその付帯施設を導入した。併せて、輸出に取り組む予定。錦CEと中球磨RCの取扱数量はそれぞれ713t、1,768tの総計2,481tであった。令和2年度は輸出の実績はなかった。 RC=ライスセンター CE=カントリーエレベータ
29	GIGAスクールタブレット購入事業	GIGAスクール構想の実現のため、児童生徒1人1台タブレットを配備する。	R2.11	R3.3	16,772	16,772	一人1台タブレット（小学校367台、中学校208台）を整備したことにより、学校が休校や学級閉鎖措置を実施したとき、持ち帰りの学習としての活用が出来た。
30	GIGAスクールタブレット追加購入事業	GIGAスクール構想の実現のため、児童生徒1人1台タブレットを配備する。	R2.11	R3.3	18,866	18,866	一人1台タブレット（小学校367台、中学校208台）を整備したことにより、学校が休校や学級閉鎖措置を実施したとき、持ち帰りの学習としての活用が出来た。
31	公立学校情報機器整備費補助金	GIGAスクール構想の実現のため、遠隔学習を行うために使用する設備（カメラ・マイク）を配備する。	R3.1	R3.3	140	70	マイク（各学校1台）などを配備したことにより、校内や学校間での交流学习に活用することが出来た。
32	GIGAスクール遠隔学習機器購入事業	GIGAスクール構想の実現のため、遠隔学習を行うために使用する設備（カメラ・マイク）を配備する。	R3.1	R3.3	106	106	マイク（各学校1台）などを配備したことにより、校内や学校間での交流学习に活用することが出来た。
33	学校保健特別対策事業費補助金	学校保健特別対策事業（学校再開に伴う感染症対策・学習支援等に係る支援事業）の補助裏に係る経費に充当する。	R2.4	R2.5	323	162	フェイスシールド（小学校800枚、中学校340枚）や消毒液などの消耗品、ビッグファンや足踏み式スタンドなどの備品購入で感染予防に努めた。
34	学校保健特別対策事業費補助金	学校保健特別対策事業（学校再開に伴う感染症対策・学習支援等に係る支援事業）の補助裏に係る経費に充当する。	R2.9	R3.3	4,500	2,250	フェイスシールド（小学校800枚、中学校340枚）や消毒液などの消耗品、ビッグファンや足踏み式スタンドなどの備品購入で感染予防に努めた。
35	学校消毒液等購入事業	学校保健特別対策事業（学校再開に伴う感染症対策・学習支援等に係る支援事業）の継ぎ足し単独経費に充当する。	R2.9	R3.3	341	341	マスク4,000枚を準備し、全児童生徒に対し早期に配付することができ、また消毒液を購入するなど感染予防に努めた。

36	学校施設整備事業	外出自粛による運動不足解消と3密回避を目的に学校の昼休み時間を利用した球技等の屋外活動を推奨しており、敷地外に出たボール拾い等を発生させず児童の安全を守るために防球ネットを整備する。	R2.11	R3.3	5,247	5,247	コロナ禍で運動不足解消のため、昼休みに運動場でサッカーや野球など球技をしているが、防球ネット(高さ6m、長さ90m)を整備したことにより、一武小学校に隣接している県道にボールが出る事例が無く、子どもたちが安心して学校生活を送れている。
37	図書館施設衛生管理事業	図書館利用者の新型コロナウイルス感染症感染予防のため、空気清浄機を購入する。	R3.1	R3.3	506	506	空気清浄機を3台導入したことにより、図書館利用者からの新型コロナウイルス感染症の発症事例もなく、感染予防対策に供した。
38							
39	錦町図書移動巡回車導入事業	交通弱者への支援及び利用者を分散することにより新型コロナウイルス感染症感染拡大の防止ため、移動図書巡回車を購入する。	R3.3	R3.8	3,860	3,610	移動図書巡回車を1台導入したことにより、図書館を利用するのが困難な交通弱者への支援をはじめ、コロナ禍における外出自粛を強いられた利用者への手助けとなった。
40	学校臨時休業対策費補助金	学校臨時休業によるパン及び牛乳加工取りやめ影響の補償を行う。	R2.4	R2.7	322	81	臨時休校による学校給食の休止に伴い、既に発注していたパン2,837個(72,513円)・牛乳13,310本(249,562円)分を補償することで、学校給食関係業者への影響に対する一助となった。
41	給食センター環境整備事業	給食センターにおける新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行う。	R2.11	R2.12	2,046	2,046	センター内の空調機1台・トイレ2箇所・自動水栓手洗器1台の整備を行い、感染症防止及び調理員の健康管理徹底の一助となった。
42	子ども・子育て支援交付金	新型コロナウイルス感染症対策として、臨時休校期間中に開所した学童保育施設に対する支援員人件費を補助する。	R2.4	R2.10	2,520	608	3カ月において、小学校の臨時休校時に支援員等を確保し特別開所することにより児童が安心して過ごせる居場所の確保と児童の健全育成支援に寄与した。
43	農業・食品産業強化対策整備交付金	ペットボトルドリンク用の茶葉製造ラインの新設による農家の所得安定化、地域経済の活性化のため、農業・食品産業強化対策整備交付金の地方負担額分に充当する。	R3.1	R3.9	75,538	75,538	令和3年8月30日竣工のため、令和2年度は実績なし。令和3年度は全体出荷量が420,721tであった。
44	契約管理システム構築事業	公共事業入札に係る書類提出(指名願い等)について、オンライン申請システムを構築し、業者の外出機会を抑制するとともに、来庁者を減少させ、新型コロナウイルス感染症感染防止対策の強化を行う。	R3.3	R3.10	6,336	6,336	オンライン申請システムを構築したことにより、これまで来庁や郵送で提出されていた約800社の指名願い等の書類提出の機会が抑制され、感染リスク減少につながった。
45	WEB会議用機器整備事業	新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、行政機関等とのWEB会議開催数が増加しており、WEB会議に必要なパソコン、カメラ、スピーカー等を整備する。	R3.2	R3.3	1,009	1,009	感染症対策を実施したWEB会議を毎月50回程開催できた。
46	来庁者用スタンド式非接触型体温計整備事業	新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、庁舎入口にスタンド式非接触型体温計(1台)を整備する。	R2.12	R2.12	424	424	発熱者を発見することにつながり、感染拡大防止につながった。
47	プレミアム付商品券事業(2021年冬実施分)	町商工会が発行する20%のプレミアム分が付加された商品券(1冊あたり12千円)のプレミアム分に補助する。	R3.2	R3.10	10,250	10,250	発行総額の99.7%が使用され、町内における消費活動の底上げにつながった。

48	小規模事業者持続化補助事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を乗り越えるために小規模事業者持続化補助金事業を行った事業者に対し、国の補助金に上乗せして補助金を支給する。	R2.4	R3.3	375	375	町内3事業者からの申請があり、総額375千円の支給を行い、コロナ禍での事業継続を支援した。
49	3密を回避したイベント等実施のためのテント設置事業	新型コロナウイルス感染症禍で町営公園の利用者が増加し、休憩スペースが不足していることから、感染防止と地域経済・町民生活の両立を図りながら公園活用の幅を広げるために、休憩スペースとしてやイベント実施で活用するテントを購入する。	R3.3	R3.3	704	704	町有施設での休憩スペースとして利用するなど、感染防止対策の一つとして活用した。
50	感染防止の呼びかけ及び混雑状況等の表示のためのデジタルサイネージ導入事業	新型コロナウイルス感染症禍において感染症への警戒度が日々変化する中、状況に応じて速やかに注意喚起を行うとともに、設置施設等の混雑状況をリアルタイムで表示するために、デジタルサイネージを導入する。	R3.3	R3.3	200	200	町内で最も人の往来が多い農産物直売所に設置し、マスクの着用や消毒の徹底等の注意喚起を行うことで、感染症対策の徹底を図った。
51	防災備蓄倉庫整備事業	避難所における衛生環境を強化し、町民の健康と安全を確保するため、備蓄品等を保管するための防災備蓄倉庫を新たに整備する。	R3.6	R3.11	4,730	4,730	防災備蓄倉庫を整備したことで、これまで不特定多数の人が出入りしていた倉庫と区別でき、備蓄品等が衛生的に保たれた。